

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

事後評価書

平成 28年 10月

計画の名称	1 県都鹿児島市を中心とした物流機能向上による交流拠点かごしまの形成（防災・安全）									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	鹿児島県, 鹿児島市							
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したインフラの長寿命化など計画的戦略的な維持管理を行うとともに、災害等に対する事前防災・減災対策を図る。 									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・小型船係留施設の整備により、小型船とプレジャーボートの輻輳の解消を図る。（係留可能船舶数を25隻 から61隻に増加させる）【小型船だまりの整備】 ・既存臨港道路の拡幅・改良により、臨港交通の利便性・安全性の向上を図る。【臨港交通の利便性・安全性の向上】 ・岸壁等を整備し、船舶の避難、利用調整の削減による安全性・利便性の向上を図る。（RORO船2隻, 貨物船1隻, 小型船6隻）【船舶係留の安全性・利便性の向上】 ・各港において施設の効用が失われる時期を延伸するため、機能の改良を行い、施設の維持を図る。【既存施設の延命化のための改良】 ・各港において施設の長寿命化計画及び対策を行う。【長寿命化計画策定】 ・港湾を訪れる県民等に開かれたウォーターフロントの形成を図るために、港湾における緑地等を整備する。【緑地施設等の整備】 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考				
			当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
【小型船だまりの整備】 小型船の係留可能船舶数を25隻から61隻に増加させる			25隻	25隻	61隻					
【臨港交通の利便性・安全性の向上】 既存臨港道路の改良による走行時間の短縮及び、災害時の交通規制に伴う迂回時間の短縮を算出。 (短縮時間 時間・台/24h) = (道路拡幅による走行時間短縮) + (耐震化による迂回時間短縮)			0時間	11時間	918時間					
【船舶係留の安全性・利便性の向上】 岸壁整備による荷役作業等の時間短縮により効果を算出。 (荷役作業等の時間 時間・年間) = (整備をしなかった場合の荷役作業等時間) - (整備による荷役作業等時間の短縮)			1157時間	730時間	438時間					
【既存施設の延命化のための改良】 既存施設が機能上支障を来さない安全率を算出 「既存施設の機能障害安全率」= (評価年度における機能上支障がない施設数/延命化改良計画を行う各港の全利用施設数) × 100 (%)			0%	0%	100%					
【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率を算出 「長寿命化計画策定率」= (評価年度における長寿命化計画を策定した施設数/長寿命化計画を策定する全施設数) × 100 (%)			43%	100%	100%					
【緑地施設等の整備】 緑地施設等の整備面積を指標とする。			0ha	0ha	3ha					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,455百万円	A	1,455百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価体制・実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県港湾空港課において実施	事業終了後
	公表の方法
	鹿児島県ホームページに掲載

交付金事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
【臨港交通の利便性・安全性の向上】																	
1-A1-3	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	臨港道路(H)	延長 L=220m	鹿児島港・本港区						79	
1-A1-4	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	橋梁(耐震化)	延長 L=56m	鹿児島港・谷山二区						297	
1-A1-10	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	橋梁(補強)	延長 L=52m	鹿児島港・谷山二区		■	■	■	■	144	「H23, H24地域自主」
1-A1-22	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	臨港道路(I)	延長 L=1,200m	鹿児島港・新港区						275	次期継続
【既存施設の延命化のための改良】																	
1-A1-25	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	可動橋(改良)	鋼材の全面防食 1式	鹿児島港・鴨池港区						9	次期継続
1-A1-26	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	物揚場(-3.0m)(改良)	延長 L=58m, 上部工打替え	鹿児島港・鴨池港区						0	次期継続
1-A1-27	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	岸壁第二突堤(-4.5m)(改良)	延長 L=160m, 電気防食	鹿児島港・鴨池港区						0	次期継続
1-A1-28	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	臨港道路木材港区線(改良)	延長 L=960m, 全面舗装	鹿児島港・中央区						63	次期継続
1-A1-11	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	可動橋(改良)	鋼材の全面防食 1式	串木野新港・野元地区						0	次期継続
1-A1-12	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	道路(改良)	延長 L=3014m, 全面舗装	串木野新港・野元地区		■	■	■	■	7	次期継続 「H24地域自主」
1-A1-13	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	浮桟橋(改良)	鋼材の全面防食 1式, 付属工取替 1式	串木野新港・野元地区						0	次期継続
1-A1-14	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	岸壁(-10.0m)(改良)	延長 L=185m, エプロン打換, 附属工取替 1式	串木野新港・野元地区						4	次期継続

1-A1-15	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	岸壁(-7.5m)(改良)	延長 L=260m,エブロン打換,附属工取替 1式	串木野新港・野元地区						8	次期継続 「H23地域自主」
1-A1-16	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	岸壁(-5.5m)(改良)	延長 L=390m,エブロン打換,附属工取替 1式	串木野新港・野元地区						15	「H23, H24地域自主」
1-A1-17	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	岸壁A(-4.5m)(改良)	延長 L=120m,エブロン打換,附属工取替 1式	串木野新港・野元地区						0.5	
1-A1-18	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	岸壁B(-4.5m)(改良)	延長 L=80m,エブロン打換,附属工取替 1式	串木野新港・野元地区						0	
1-A1-19	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	臨港大橋(改良)	鋼材の全面被覆防食 1式, 歩道防水処理L=80m	串木野新港・野元地区						131	次期継続 「H24地域自主」
【長寿命化計画策定】																	
1-A1-20	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	維持管理	鹿児島港長寿命化計画策定	防波堤6件, 係留27件, 橋梁1件	鹿児島港						59	
1-A1-21	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	維持管理	桜島港長寿命化計画策定	防波堤12件, 係留施設47件	桜島港・野尻地区他						18	
1-A1-24	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	維持管理	喜入港長寿命化計画策定	防波堤4件	喜入港						0.1	
【緑地施設等の整備】																	
1-A1-29	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	緑地	全体面積 A=13.7ha	鹿児島港・中央港区						345	次期継続 「H24地域自主」
1-A1-30	港湾	内地	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	緑地	全体面積 A=2.0ha	鹿児島港・新港区						0	次期継続
小計(港湾事業)															1,455		
合計															1,455		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
										合計						0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
										合計						0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

その他関連する事業

計画書の名称等 県都鹿児島市を中心とした物流機能向上による交流拠点かごしまの形成(地域活性化)

番号	事業種別	交付対象					要素となる事業名 (事業箇所)		港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
【小型船だまりの整備】																	
1-A' 1-1	港湾		鹿児島県				防波堤(北)		鹿児島港・浜平川港区							203	
1-A' 1-2	港湾		鹿児島県				物揚場(-2m)		鹿児島港・浜平川港区							0	
【船舶係留の安全性・利便性の向上】																	
1-A' 1-5	港湾		鹿児島県				回頭泊地(-5.5m)		鹿児島港・本港区							107	
1-A' 1-6	港湾		鹿児島県				岸壁(-6m)		鹿児島港・新港区							426	
1-A' 1-7	港湾		鹿児島県				泊地(-6m)		鹿児島港・新港区							0	
1-A' 1-8	港湾		鹿児島県				岸壁(-4.5m)		鹿児島港・新港区							392	
1-A' 1-9	港湾		鹿児島県				物揚場(-4m)		鹿児島港・新港区							48	
1-A' 1-25	港湾		鹿児島県				防波堤(西)		串木野新港・野元地区							0	
【船舶係留の安全性・利便性の向上】																	
1-C' 1-1	港湾		鹿児島県				安全対策施設		鹿児島港・新港区							295	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

A'	1,176百万円	B'	百万円	C'	295百万円	(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))	10.1%
----	----------	----	-----	----	--------	-------------------------------------	-------

事業効果の発現状況，目標の達成状況

定量的指標に関連する交付金対象事業の効果の発現状況

- ・鹿児島港において防破堤等の整備進捗を行ったが、係留施設整備まで実施できず、避難係留可能隻数の増加には至らなかった。
- ・既存臨港道路の拡幅・改良により、臨港交通の利便性・安全性の向上が図られた。
- ・岸壁等を整備し、船舶の避難、利用調整の削減による安全性・利便性の向上が図られた。
- ・各港において既存施設の延命化のための改良を行い、施設の維持が図られた。
- ・各港において施設の延命化に資する長寿命化計画策定を行った。
- ・港湾における緑地等の整備により、港湾を訪れる県民等に開かれたウォーターフロントの形成が図られた。

定量的指標の達成度

	最終目標値	最終実績値	今後の方針
【小型船だまりの整備】 小型船の係留可能船舶数	61隻	25隻	係留可能隻数の増加を図るため、今後も引き続き整備を進める。
【臨港交通の利便性・安全性の向上】 既存臨港道路の改良による走行時間の短縮及び、災害時の交通規制に伴う迂回時間の短縮時間 (短縮時間 時間・台/24h) = (道路拡幅による走行時間短縮) + (耐震化による迂回時間短縮)	918時間	918時間	臨港交通の利便性・安全性の向上を図るため、今後も引き続き整備を進める。
【船舶係留の安全性・利便性の向上】 岸壁整備による荷役作業等の時間 (荷役作業等の時間 時間・年間) = (整備をしなかった場合の荷役作業等時間) - (整備による荷役作業等時間の短縮)	438時間	438時間	船舶係留の利便性の向上を図るため、今後も引き続き整備を進める。
【既存施設の延命化のための改良】 既存施設が機能上支障を来さない安全率 「既存施設の機能障害安全率」 = (評価年度における機能上支障がない施設数/延命化改良計画を行う各港の全利用施設数) × 100 (%)	100%	15%	既存施設の延命化を図るため、今後も引き続き改良を進める。
【長寿命化計画策定】 長寿命化計画の策定率 「長寿命化計画策定率」 = (評価年度における長寿命化計画を策定した施設数/長寿命化計画を策定する全施設数) × 100 (%)	100%	100%	長寿命化計画は全て策定。
【緑地施設等の整備】 緑地施設等の整備面積	3ha	3ha	港湾を訪れる県民等に開かれたウォーターフロントの形成を図るため、今後も引き続き施設整備を進める。

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて)

(参考図面)活力創出基盤整備

計画の名称	1 県都鹿児島市を中心とした物流機能向上による交流拠点かごしまの形成 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	鹿児島県, 鹿児島市

